

第3回図書館やお市民フォーラム(2001年11月10日)

今回のフォーラムは美原町立図書館を見学させていただきました。

美原町立図書館は平成12年4月にオープンした図書館です。約1500㎡で、蔵書は、約15万冊あります。全体に暖かい雰囲気のレストランでした。まずは、別室に案内され、図書館について、美原町立図書館長より説明があり、続いて中村恭三先生より補足説明がありました。続いて、自由に館内を見学させていただきました。

○ 建設計画と建物の特徴について(美原町立図書館長より)

開館当初は、29.8万冊の貸出がありました。これは、計画時に描いていた予想よりはるかに多いものでした。その後、貸出は増える傾向にあり、徐々にサービスが町民の間に浸透してきています。

建設経過について

平成8年秋、美原町立図書館計画ができ、平成10年9月に着工にとりかかれました。そして、1年半を経過し、平成12年4月、オープンにこぎつけました。開館してまず感じたのは、施設(建物)が町民に及ぼす影響の大きさです。建物がこれほど人を呼ぶというのは、肌で感じたことです。この建物は、図書館に全く興味のない人でも、ちょっと立ち寄ってみたいという雰囲気がかもし出しています。最初は図書館に行くというより、「一度行ってみようか。」と言う雰囲気で来られた方が多かったようです。

美原町立図書館は、市の中心にあり、図書館から、最も遠いところで3.3キロ。市の中心にあり、ほとんどの住民のサービス圏内にあります。

「図書館は街づくりの中心である」が基本にありました。今日、図書館を知らない町民は少なく、登録率も50%を超えました。将来は60%を越えても不思議でないと思います。

図書館のコンセプト

図書館は赤ちゃんから大人まで学べる施設です。しかし、美原町立図書館では、子どもたちのために生涯学習の拠点として、子どもへのサービスを中心にしようと考えました。青少年が出会える場所をひとつのコンセプトとしています。

さらに、利用者にとって便利な図書館作りということも念頭におきました。気軽に立ち寄れるということで、段差のないフラットな感じ、歩道からの距離感が入りやすいという建て方を強調させています。また、実際の利用を見てみると、車椅子の方がかなり来てくれています。書架も高さを抑えていますので、車椅子の方でも自由に本がとれるようになっています。

この施設の特徴として、採光にも工夫を凝らしていることがあげられます。自然光を本にあてることなく、全体にやさしい雰囲気をかもし出す図書館づくりということ意識しました。こうして、明るく、衛生的、現代的な建物作りが完成しました。音についてですが、床にコルク材を使用し、静寂な図書館づくりを意識しました。

事務所とカウンターとBMの配置ですが、それらをすべて1箇所にかため、無駄な道線がないよう

心がけました。

○中村先生より補足説明

美原町をフォーラムの視察の対象としたのは、図書館のない町に図書館をつくる過程に忠実に従ったというところにあります。背景には首長の図書館に対する思いがあり、このような賑わいを見せているのは、館長はじめ職員が一丸となった結果だろうと思います。

建築計画に私が関わりましたが、運営面には府立図書館員も熱心に関わってきました。

プロポーザル方式 - 素晴らしい建物はまず設計者から

設計者を選ぶ段階で、プロポーザル方式を採用し、かなり広いところから応募者を募集しました。そして、その設計者がどういう図書館をつくってきたか、業績を確かめるため、各地の図書館を見学し、これらを参考に建築会社を選んでいきます。これは、全国的にもきわめてまれなケースです。こういう過程を経て、図書館を深く理解している設計者として評価が高いところに決まりました。

この場所は、町の中心に位置しますが、回りにほとんど人が住んでいません。図書館は本来、人の多いところにありますが、果たしてここに作っても利用者がどれだけあるか当初は随分心配しましたが、幸い、図書館の魅力、運営も含めて、町の人に図書館が染み渡ってきたと思います。

建築の概略について

建築の概略の補足説明しますと、北側に入り口があり、南は大きな中央公民館があり、見晴らしが悪く、採光もあまりよくありません。敷地も建物いっぱいであり、決してゆとりあるわけではありません。北側もすぐに道路に接しているという、条件的は必ずしも恵まれたものではありませんでした。設計者の創意工夫で、大変魅力的な図書館に仕上がっています。

普通は、雑誌コーナーは図書館に入ってすぐのところにあものですが、あえて、人を奥まで引きこめたいという意図から、雑誌コーナーを一番奥に配置しています。それもこの図書館の特徴のひとつです。

また、開放的で伸びやかなスペースを作り出しています。屋外に読書席を配置し、カウンターが建物のほぼ中央部にまとめられ、職員があまり無駄な動きのないように作られています。

通常、見えないように書庫を配置しているものですが、あえて眼に見えるようにしています。これもこの特徴かと思います。